

▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽

広島県緑化センターメールマガジン VOL.290 H27.4.2

△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼

コブシやタムシバ、ハクモクレン等、モクレン科の白い花が香りを漂わせています。オキナグサやスミレ類も開花しました。

3月30日に緑化センターの染井吉野の開花宣言をしました。4月2日現在、4~7分咲きです。天気次第ですが、これから1週間が見頃となりそうです。今回はサクラの開花状況を紹介します。

エドヒガン（江戸彼岸）バラ科サクラ属（写真1上）

野生種で、本州、四国、九州及び朝鮮半島に分布します。長寿で、樹高30mを超すこともあり、天然記念物に指定されている老木や大木があります。染井吉野の一方の親としても有名です。花は一重咲きで白色~淡紅色で、展葉前に開花するため、観賞価値があり、寺社でよく栽培されています。

場所：さくら通り（西ゲート下）

修善寺寒桜（写真1下）

カンヒザクラとオオシマザクラの雑種と考えられており、静岡県修善寺町の修禅寺に老木があります。花弁は5枚で、やや濃いピンク色を帯び、樹高が10mを超える大木になります。

場所：さくら通り（管理事務所横園路沿い）、車庫横、車庫上

寒咲大島（写真2上）

関東南部の温暖帯に自生するオオシマザクラは普通、染井吉野と同時期か、やや遅れて開花しますが、樹によって開花期にばらつきがあり、特に早く咲くオオシマザクラを寒咲大島と呼んでいます。花は白色の一重咲きです。

場所：作業舎上

大寒桜（写真2下）

埼玉県川口市の安行から広められたので、安行寒桜とも呼ばれます。カンヒザクラとオオシマザクラの雑種と考えられています。寒桜よりやや遅れて開花し、一重咲きで、淡紅色を帯びます。樹高10m程の大木になり、染井吉野に似た樹形になります。

場所：第5駐車場

陽光（写真3上）

鮮やかな紅紫色の花が展葉前に開き目を引きます。愛媛県の高岡正明氏により、カンヒザクラと天城吉野を交配して作られた品種で、1981年に種苗法による品種登録が行われました。一重咲きで、染井吉野と同時期に開花します。

場所：レストハウス進入路

小彼岸（写真3下）

樹高6m程度と低く、彼岸の頃に開花するため、小彼岸と呼ばれています。元来は彼岸桜と呼ばれますが、エドヒガンと混同されるため、小彼岸と呼ばれます。花弁は淡紅色を帯び、一重咲きで、庭園などに用いられます。江戸初期から現在まで広く栽培されています。

場所：西ゲート横、展望広場

この他、八重紅彼岸、紅枝垂、子福桜、十月桜、冬桜も咲いています。

また、八重紅枝垂、赤実大島、ヤマザクラが咲き始めました。

緑化センターホームページ (<http://ryokka-c.jp/>) にサクラ、その他の開花状況を掲載していますので、ぜひご覧ください。また園内にも、園内サクラ開花一覧表や、サクラ品種位置図がレストハウスにありますので、ご来園の際は立ち寄りください。

サクラの状況は天気により変動しますので、開花の詳細は緑化センター管理事務所（082-899-2811）へお問い合わせください。

その他の園内開花情報等

開花	コブシ、タムシバ、ハクモクレン、ハナノキ、ハウチワカエデ、サンシュユ、カツラ、アテツマンサク、ユキヤナギ、ヤブツバキ、サザンカ、ツバキ品種、アセビ、シキミ、キャラボク、ダンコウバイ、アブラチャン、イヌガシ、アオモジ、トサミズキ、ヒュウガミズキ、ミツマタ、ジンチョウゲ、ネコヤナギ、コリヤナギ、ヒサカキ、チョウセンレンギョウ、オウバイ、ベニスモモ他
----	---



写真1上 エドヒガン (さくら通り) H27.4.2



写真1下 修善寺寒桜 (さくら通り) H27.4.2



写真2上 寒咲大島 (作業舎上) H27.4.2



写真1下 大寒桜 (第5駐車場) H27.4.2



写真3上 陽光（レストハウス進入路） H27.4.2



写真3下 小彼岸（展望広場） H27.4.2